



2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
RCは分かちあいの心  
2007～2008年度  
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

# Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日  
会 長：岩本 成郎  
幹 事：西本 哲  
クラブ広報委員：亀井 直人  
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
会 場：ヒルトン名古屋  
事 務 局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
T E L：052-211-3803  
F A X：052-211-2623  
M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1336回例会

～新世代のための月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2007年9月27日(木) 曇 第12回

司 会：高木 勝会場委員  
斉 唱：「日も風も星も」  
ゲ ス ト：2006～2007年度R財団国際親善奨学生  
都築由佳さん

### 会長挨拶

岩本成郎会長

#### 一ガバナー補佐クラブ訪問に思う一

9月20日午前11時ヒルトン玄関にて会長、幹事、副会長、会長エレクト、副幹事の5名で歓迎。  
・ガバナー補佐 杉本仁至さん(名古屋中RC)  
・地区副幹事 船橋茂行さん(小牧RC)  
・ガバナー補佐幹事 飯田鳴登さん(名古屋中RC)  
・ガバナー補佐幹事代理 永野光容さん(名古屋中RC)  
以上4氏の訪問となりました。



11時30分4F「桜の間」での会長幹事懇談会は西本幹事司会に始まり、会長挨拶と本年度のクラブ方針説明を致しました。ガバナー補佐杉本氏より挨拶と地区方針についての話、和気あいあいの中親しみを持った懇談会となりました。ガバナー補佐杉本氏は、会長エレクト松井さんとは空手の先輩後輩ということで親交の深いお二人。又私の友人がやはり空手の先輩、そんな関係から若き日の話に興じる一幕もございましたがクラブ運営につきましての話題では、特にクラブ計画書がすばらしい出来と感心しておられ、他クラブとの違いを強調されました。気がつけばもう例会が始まる時刻、和やかな会話の内に終わりました。

さて例会卓話での杉本氏は30分の時間をフルに使いRI会長並びにガバナー方針に触れロータリーのあるべき姿について熱心に語り丁寧に話されました。例会終了後は引き続きクラブアッセンブリー。杉本氏を囲みクラブ委員会委員長全員参加での委員会方針並びに活動報告、4F「桜の間」が狭く感じられる雰囲気の中、西本幹事の司会進行のもと委員はその活動方針と行動についての活力ある説明をされ内容とテンポの良さで盛り上がりました。それを受け杉本氏の講評はきわめて正確に全委員会報告に答えられ誠に快適な緊張感の内終わることができました。閉会挨拶は船橋地区副幹事が務められ、委員会活動の活性化を高く評価しすばらしいクラブアッセンブリーであったとの挨拶をいただきました。当クラブを代表して増田副会長より御礼の言葉、ガバナー補佐一同の顔が見える場所へと席を変え親しみをこめた答礼、気品ある雰囲気の中終了することができましたことは各委員会皆さんの積極的な参加と活動報告があつての事、誠にありがとうございました。  
※ガバナー補佐杉本氏からはすばらしいクラブと報告しますとのコメントがありました。

### 出席報告

田中隆義出席副委員長

会員72名 出席52名 (出席計算人数50名)

出席率82.0%

9月20日は補填により 92%

### 幹事報告

西本 哲幹事

・本日例会終了後、推薦小委員会を13時35分から6F「けやきの間」にて開催致します。出席予定者は宜しくお願ひします。  
・次週の例会は10月2日(火)ガバナー訪問です。名古屋名南RCとの合同例会となっております。場所はマリオットアソシアホテル16階「アゼリアの間」です。時間は通常通り12時30分からです。よって10月4日(木)は振替として休会です。  
・クールビズは本日をもって終わります。次週よりネクタイ着用をお願いします。

### 臨時例会変更のお知らせ

名古屋北		10/19(金)		
名古屋守山	10/10(水)※	10/17(水)	10/24(水)※	
名古屋みなと			10/26(金)	
名古屋東南	10/10(水)※		10/24(水)※	
名古屋中		10/15(月)		
名古屋名東	10/9(火)	10/16(火)※	10/23(火)	
名古屋名北		10/17(水)		
名古屋千種		10/16(火)		10/30(火)
名古屋大須	10/11(木)		10/25(木)	
名古屋栄		10/15(月)◆		
名古屋名南			10/24(水)※	10/30(火)◇
名古屋名南		10/16(火)※		
名古屋名駅			10/24(水)※	
名古屋昭和	10/8(月)※			10/29(月)
名古屋西南		10/18(木)		
名古屋東山		10/18(木)		
名古屋葵	10/11(木)※			
名古屋空港	10/8(月)※			10/29(月)
名古屋清須		10/16(火)	10/23(火)※	10/30(火)※
あま			10/22(月)	
尾張中央		10/17(水)※	10/24(水)※	
名古屋城北				10/30(火)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。  
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。  
◇はサイン受付が17:30～18:30となります。

### ニコボックス

田中隆義ニコボックス副委員長

- ・9月20日は妻の誕生日でした。又例会の欠席が続きまして・・・  
高木 勝さん
- ・昨日は33回目の結婚記念日でした。女房に花束を贈りました。  
入山 治樹さん
- ・家内の誕生日祝のお花ありがとうございました。  
稲垣 豊さん
- ・梅田さんに云われて結婚記念日をハッと気づきました。  
天野 正明さん
- ・敬老のお祝いいただき有難く美味いただきました。  
森 真佐雄さん
- ・明日は初めてゴルフ例会に参加させていただきます。ご指導をよろしくお願ひいたします。  
梅田 朋嗣さん
- ・ゴルフ部幹事 明日は宜しくお願ひ致します。松岡 道弘さん
- ・やっと涼しくなりました。体に気をつけましょう。守谷 巖樹さん

## 委員会報告

### 環境保全委員会：松岡道弘委員長

去る9月19日名古屋クレストンホテルにて国際ロータリー第2760地区第1回環境保全委員長会議に出席しました。その中で会員の皆様に是非ご家庭で取り組んでいただきたいものがあります。「身近な地球温暖化対策、家庭でできる10の取り組み」という環境省から出されている資料をメールボックスに入れておきました。環境家計簿として計算方法が記載されており、ご家庭で出される1ヶ月の二酸化炭素の量の計算ができるようになっています。

### 国際奉仕委員会：平野好道委員長

今度のロータリーの国際大会は来年6月アメリカ・ロサンゼルスです。パンフレットがクラブに届いていますが、合い言葉は「スターに会おう」です。ぜひご参加ください。

## 卓話

2007～08年度 R財団国際親善奨学生  
都築由佳さん

### R財団国際親善奨学生帰国報告



本日は、ロータリー財団、国際親善奨学生として行ってまいりました帰国報告をさせていただきます。初めに、私を名誉と伝統のある国際親善奨学生にご推薦いただきました前々会長であり顧問カウンセラーの大島様を初め、本クラブの皆さま方におかれましては心より感謝を申し上げます。事務局の井上様には出発前の際に空港へお見送りにお越しいただき、また、通常の連絡調整等におきましては、様々なお気遣いを頂き、大変お世話になりました。皆様方に支えられ、ここにこうして帰国報告ができますことは私にとりまして、この上ない喜びでございます。私の近況ですが、6月17日に帰国し、7月下旬より財団法人日本国際協力センター中部支店に勤務しております。

それでは私のイギリスでの体験を3点に分けてお話させていただきます。まず、私が滞在していたニューキャッスルについてです。場所はイングランドとスコットランドの境界線まで約70kmの北東部に位置しています。イギリス北部は南部より歴史的にも比較的貧しく、炭鉱産業が全盛の時代も衰退してからも南部に比べるとそれほど恵まれた環境ではありません。そのような地域の最大都市であるニューキャッスルは港が近く、19世紀ごろには世界最大の造船所があったそうです。1970年代には炭鉱が閉鎖され経済は悪化しましたがその後は観光都市として盛り返し、近郊の日産自動車サンダーランド工場は外国企業の誘致策線での大きな成功の一つであったようです。歴史的な日本とのつながりとして、岩倉具視使節団が明治維新の頃地元の貴族、アームストロング卿に面会した場所が現在もホテルとして残されています。ニューキャッスルの中ではありませんが、それほど遠くない場所に日本人が多く住む日本人街が存在した時代もあったそうです。ニューキャッスルについて忘れてはならないのは、地元のジョーディと呼ばれる労働者階級の人々です。ニューキャッスルの地元っ子たちは非常に早口で歌うようなリズムと非常に強いアクセントで話します。これが留学生のみならずイギリス人にとっても常に話題となり、英語に聞こえないこともしばしばありました。遠い昔にはバイキングが進入した歴史があり、ヨーロッパ北方の言語の影響が強いそうです。

次に私の専攻した社会学とイギリス社会に関するお話です。私はニューキャッスル大学大学院社会学課程に在籍しておりました。私が学科で唯一のEU以外の国からの留学生で、学科が初めて受け入れるEU以外からの留学生でした。クラスでは常に苦労の連続で、正に息つく暇もないようなめまぐるしさでした。他の学科との合同のクラスには少数ですが、東ヨーロッパやアジア、アフリカからの留学生もいて、ある授業でイギリス人、ギリシア人、中国人、私という4人のチーム発表をしました。イギリス人はアルバイトが忙しく、ギリシア人は2人の子持ちで、中国人は夫が経済学者で本人は博士課程を目指しているの、全員が集まるのが難しく、時にはメンバーの家に集まったりしながら一つの架空の研究計画を立て発表しました。人付き合いも、友情の示し方もみんな

それぞれで大変でしたが、今となってはとても良いチームワークの思い出です。

現在世界各地で様々な市民参加プロジェクトが行われていますが、2泊3日で市民参加プログラムに同行し見学させて頂きました。8歳から70歳までの20人の市民がランダムに選ばれ、自然豊かな湖水地方で少し変わった週末を過ごすという趣でした。大切なのは一般市民の縮図である参加者が活発に話し、豊かな発想力で考えることができる場をつくるということです。主催者はそこに尽力しプログラムを組みます。例えばイギリスの町の教育に関係する人々の権力の強さを知るためのプログラムがありました。公共政策の現状や問題点に関して、様々な人が様々な立場で話し合いますが、その話し合いの場が公平でなければならないことを端的に表しているプログラムだと私は理解しました。

他にもイギリスは議論が活発に行われる文化であることがよくわかりました。カフェイベントで様々な議論がなされていましたが、ここではジョーディたちのなまりのある英語を聞く機会がほとんどありませんでした。やはり中流階級以上の教育を受けた人々の集まりなのかもしれません。社会学の授業では階級社会はだんだん薄くなってきているというのがイギリス人の認識でしたが、行く場によってどの階級の場所ということを意識することが多かったように感じます。

最後にイギリスでのロータリークラブの活動についてです。国際親善奨学生の役割として、各クラブでのスピーチがありますが、私は12のクラブでスピーチさせて頂きました。スピーチでは自身の経歴、名古屋瑞穂クラブに関する事、米山記念奨学金に関する紹介、日本人と外国人留学生が撮影した日本の写真の紹介等を行いました。最も思い出深いクラブはワシントンRCとモンクシートンRCです。ワシントンRCはアメリカ初代大統領のジョージワシントンの家計の子孫が住んでいたという屋敷で毎回例会を行っていました。モンクシートンRCは設立2年目の若いクラブで非常に活発な印象を受けました。女性が半数近くいて、様々な年代、インドや中国出身の方もいました。他のクラブで多かったのは比較的退職者の多い伝統的なクラブです。

カジノナイトとクリスマス前のサンタのそりのチャリティ活動にも特別参加させて頂きました。カジノナイトはロータリアンが家族や友人を招待し、偽のお金を使った賭け事を行い参加者の入場料や寄付などを身近な団体に寄付するというものです。一晩で20万円程収益がありました。サンタのそりのチャリティ活動は、サンタと一緒にロータリアンが各家庭を回り募金を募るというものでした。ここでおもしろかったのは、日本では募金のために各家庭を回することは催促するようではばかれますが、イギリスでは各家庭をノックしないことの方が失礼にあたるということです。

受け入れRCのホストコーディネーターであるロジャークラント氏には大変お世話になりました。国際親善奨学生という立場がもたらしてくれた経験というのは実にありがたく、他では得がたい貴重なものでした。国際親善奨学生としての素晴らしい機会を与えてくださった本クラブの皆さま方に改めて心よりお礼を申し上げます。



## 今週行事

10月2日(火)

ガバナー訪問

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル16F「アゼリア」

※10月4日(木)は振替により休会

## 次週卓話

10月11日(木)

卓話講師：2007～2008年度R1第2760地区地区職業奉仕委員  
小島清路さん

テ ー マ：「ロータリーにおける職業奉仕について  
～職業奉仕の意味、ロータリーの中での位置づけ及び他奉仕団体との比較等～」